

議員活動報告

町商工会役員との意見交換会 平成28年 1月27日

富士見町議会は1月27日、町商工会役員との意見交換会を商工会館で開きました。建設、工業、商業の3部会ごとに状況を聞き、商工会活動への理解を深めました。町政に対する要望も受け、地域振興と活力創出に向けて意見を交わしました。

各部会からは、「JR富士見駅周辺にビジネスホテルが欲しい」などの要望が出されました。産業振興では、住宅リフォーム、新築住宅の補助金増額や、対象年齢の引き上げ、技術者の育成に対する町の支援強化などを要望。駅前駐車場に長時間利用する車の有料化や、ふるさと納税の推進など、具体的な意見、提言が相次ぎ、有意義な意見交換となりました。

名取元秀会長は「富士見町の工業は厳しいが、各事業所が確実な得意先をつかみ、健全な事業を行っている」と評価する一方で「松本・諏訪地区の産業は空洞化している」と懸念も寄せました。

町議会では、商工会役員の皆さんから寄せられた多くの意見、提言、要望を今後の議会活動に反映させ、町の発展に生かしていきたいと考えています。 (川合弘人)



商工会役員との意見交換会であいさつする名取元秀会長(右)

町社会福祉協議会の役職員との意見交換会

平成28年 3月18日

富士見町議会は3月18日、町社会福祉協議会(森山誠会長)の役職員との意見交換会を、ふれあいセンターふじみで開きました。町内全域で福祉活動を行う町社協への理解を深めようと企画。社協側は森山会長をはじめ役職員9人が出席しました。

質疑で、社協は「給与体系を見直し、休暇にも配慮している」とし、若年者の資格取得を支援する方針を打ち出しています。利用者の状況は、「比較的元気な人まで民間の有料老人ホームに入所するケースが増えている」とし、一方で「社協の利用者が減少している」とのことでした。新たな大型施設の整備構想はなく、「地域ごと多目的施設での包括支援が望ましい」としました。地域おこし協力隊員には、「地域の拠点作りに、町外者の新鮮な目を取り組んでほしい」と期待しています。

地域包括支援センターとの連携に関しては、「三者で毎月、地域ケア会議を開き、目的別分担もある。(役割分担が)分かりにくいと感じる町民もいると思うが、実務は活発に交換できている」と答えました。名取武一議会改革実行委員長は「社協の新たな取り組みを学ぶことができ、有意義な意見交換会になりました」と総括しました。

(川合弘人)



あいさつする森山誠会長(左)と、社協の役職員の皆さん